

“みんなで育てる みんなのまち”

アダプトだより

第24号

岐阜版アダプト・プログラム “ぎふまち育て隊”

(令和8年9月15日号)



■令和7年度新規参加団体一覧

■令和7年度新規参加団体紹介

■INFORMATION

・助成金情報

■参加特典

・保険適用

・希望団体にサインボードを設置



令和7年度新規参加団体一覧

令和7年度新たに**2団体**がアダプト・プログラムに参加しました。（覚書締結順）

団体名	活動場所
岐阜大学教育学部附属小中学校	清水緑地の一部と沓井公園、東丸橋の花壇
株式会社サンセルフ岐阜支店	岐阜市金園町、月丘町、花沢町、瑞雲町、東栄町地内

令和7年度新規参加団体紹介

岐阜大学教育学部附属小中学校

本校では、3年生の総合的な学習の時間「どう生きる科」で花を育てています。令和7年度、学校の花壇を整備し、地域にある花壇を管理している加納東自治会連合会の方々から花壇の整備の仕方を教えていただきました。

令和8年度は、「どう生きる科」でまちづくりをテーマに探究活動をしている6年生が、この花壇整備を通して地域の方と積極的に交流し、より活気と笑顔のあふれる「まちづくり」を目指して学習活動を展開しています。

早速、7月に、加納東自治会連合会の会長様と一緒に清水川沿いの花壇の草取りをしました。今後は、花を植え、整備しながら、人と人とをつなぐまちづくりに貢献していきたいと考えています。

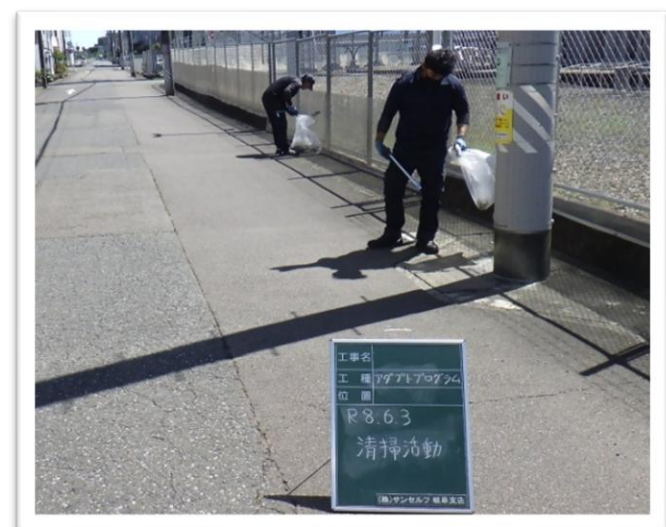


株式会社サンセルフ岐阜支店

弊社は、下水道維持管理を主要な仕事としている会社です。

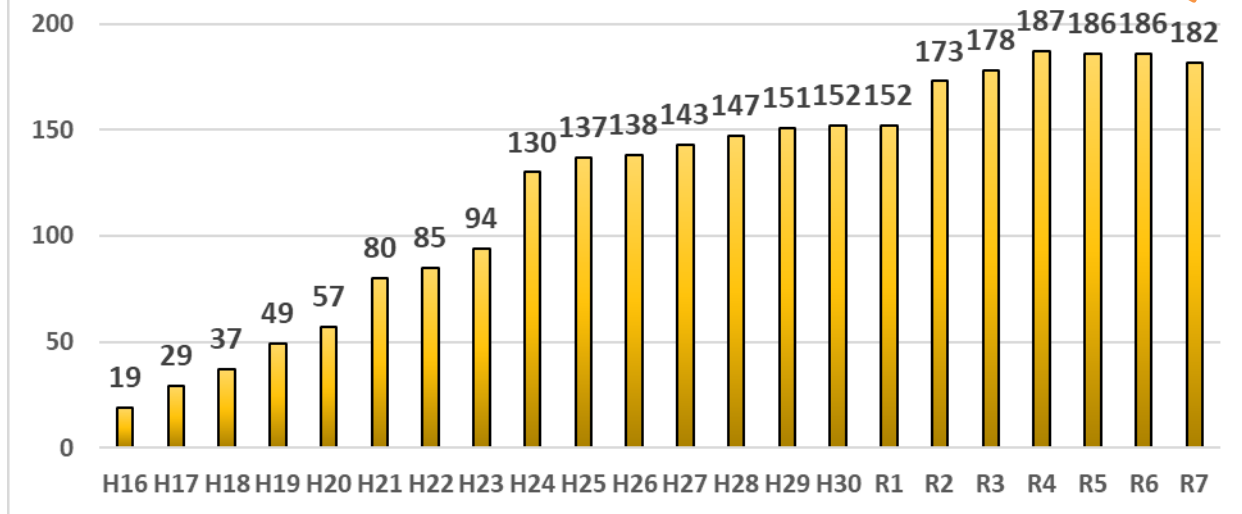
豊田市にある本社及び名古屋営業所では、以前から定期的にゴミ拾い等の清掃活動に参加しており、岐阜支店も何らかの形で地域に貢献したいと考えていたところ、“ぎふまち育て隊”というものがあるのを知りました。

活動を通じ、街を綺麗にすることで住民の皆様に喜んで頂けると考え、アダプト・プログラムに参加することといたしました。



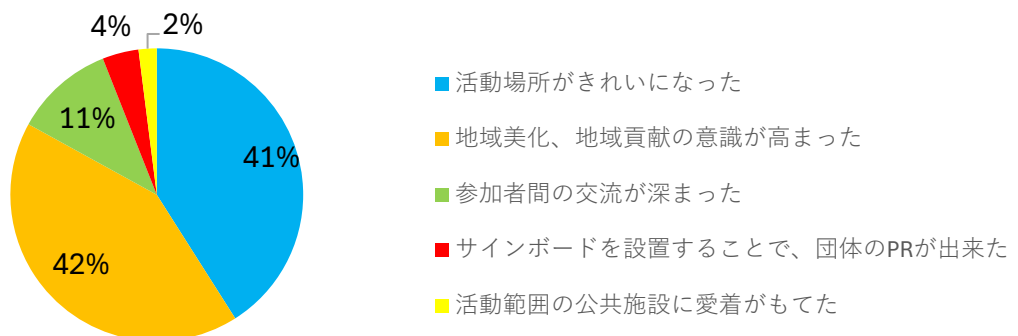
参加団体が当初の9倍まで増加しました！

【各年度末 参加団体数の推移】



アダプト・プログラム参加団体を対象に実施した、令和7年度アンケート結果を一部ご紹介します。

Q1. アダプト活動に参加して特によかったことはありますか。



Q2. 活動を維持していくために、工夫されていることはありますか。

毎月1日を活動の日として決めています

会員同士で清掃前に声掛けし、地域の人のお礼の言葉は全員に周知し、励みにしています

年間行事カレンダーに実施日を記載して、活動日程を周知しています

打ち合わせの時に、次の活動日を設定・周知しています

その他にも様々な工夫やご意見がありました。アンケートのご協力ありがとうございました。

助成金情報

公益社団法人食品容器環境美化協会は、飲料メーカー 6 団体で構成される公益法人で、飲料容器の散乱対策を中心とした環境美化の推進を事業目的とし、その一環として行政と市民の協働によるまち美化手法である「アダプト・プログラム」の情報センターとして、普及・推進に取り組んでいます。

市民と行政が協働で進める「アダプト・プログラム」の重要性が全国で広く認識されつつある中で、アダプト・プログラム活動の一層の奨励を行うとともに、その普及を推進することを目的とし、アダプト・プログラムに新たに参加しようとする団体、アダプト活動をさらに充実、拡大させようとする団体に助成を行い、アダプト活動の輪がさらに広がり、地域の美化、環境美化につながるよう応援しています。

統一美化マーク



飲料容器の散乱防止、リサイクルの促進を目的に食環協が制定したマーク。

令和 7 年度の場合（参考）

■助成対象団体

- 次のいずれかの団体であること
 - ①新たに地域のアダプト・プログラムに参加しようとする団体
 - ②アダプト活動をさらに充実、ステップアップしようとするアダプト・プログラム活動団体
- 過去 2 年間食品容器環境美化協会の助成を受けていないこと

■助成内容（全国）

助成金コース	3 1 団体	（応募 1 8 1 団体）	助成金額合計	2, 5 1 5, 6 3 6 円
清掃グッズコース	3 8 団体	（応募 6 5 団体）	助成セット数	1 6 2 セット

■助成決定までの流れ

公益社団法人食品容器環境美化協会ホームページ
「2025 年度アダプト・プログラム助成制度【概要】 9. スケジュール」を参照



岐阜市 令和 7 年度助成対象団体（申請：1 0 団体）

清掃グッズ

たけの会

社会福祉法人 千代田会

<問い合わせ先>

公益社団法人食品容器環境美化協会（食環協）

ホームページ：<https://www.kankyobika.or.jp/>

アダプト・プログラム助成制度担当

電話番号：03-5439-5121（平日 10 時～17 時）

FAX 番号：03-5476-2883

アダプト・プログラムの活動には保険が適用されます

岐阜版アダプト・プログラム“ぎふまち育て隊”に参加されている活動団体には、岐阜市が加入する保険（「傷害保険」「賠償責任保険」）が適用されます。なお、アダプト・プログラム登録団体に本保険の保険料負担はありません。

※ただし、保険を適用するためには、活動時の参加者を名簿で管理する必要があります。
また、全ての事案に適用されるわけではありません。

【傷害保険】



死亡・後遺障害補償保険金			
死亡：500 万円・後遺障害：20 万円～50 万円（傷害の程度により異なります）			
入院補償保険金		通院補償保険金	
入院日数	保険金額	通院日数	保険金額
1 日～ 5 日	2 万円	6 日～15 日	2 万円
6 日～15 日	6 万円	16 日～30 日	6 万円
16 日～30 日	12 万円	31 日～60 日	9 万円
31 日～60 日	18 万円	61 日以上	12 万円
61 日～90 日	24 万円	※通院補償は通院 6 日以上に限ります。	
91 日以上	30 万円		

◆保険の適用期間は、怪我をされたときから 6 ヶ月間以内です。

【賠償責任保険】



補償項目		保険金額・支払限度額	
賠償責任 (免責金額なし)	身体賠償	1 名につき 1 事故につき	2 億円 2 億円
	財物賠償	1 事故につき	2 億円
受託者賠償責任保険 (免責金額なし)	財物賠償	1 事故につき	50 万円
		保険期間中	50 万円

万が一、活動中に事故が発生した場合は、市民活動交流センター（058-264-0011）まで、ご連絡ください。

希望団体にはサインボードを設置します

希望団体には、団体名を記載したサインボードを岐阜市が設置します。団体の活動を広く知らせることができ、その地域のポイ捨ての抑制効果も期待できます。

サインボードは他都市でも多く導入されている支援の一つです。各自治体が工夫を凝らした独自性のあるサインボードを設置しています。近隣市町村でもサインボードは効果的に活用され、参加団体の意欲向上と、市民の美化意識を強めることに役立っています。

サインボードのデザイン（例）



サインボードは、新規参加団体に限らず、すでにアダプト・プログラム活動に参加いただいている団体でも設置していただくことが出来ます。

設置をご希望される場合は、市民活動交流センターへお気軽にご相談ください。

TEL 058-264-0011



～コラム①～ 市民参画賞ってなに？

岐阜市では、**自発的にまちづくりに取り組む個人・団体の功績**をたたえて「市民参画賞」を授与しています。表彰対象の活動を5年以上継続的に行っていることが要件です。「岐阜版アダプト・プログラム」の活動は表彰の対象となり、例年表彰を行っています。令和7年度は下記の団体が受賞されました。

令和7年度受賞団体（3団体）

- ・朝日設備工業株式会社
- ・協同組合岐阜給食センター
- ・株式会社西武管商

～コラム②～ 市民活動支援事業ってなに？

岐阜市内を拠点に地域社会の課題解決を目的として、自主的かつ公益的な活動を行う市民団体に対し、事業のタイプに応じて支援する「市民活動支援事業」を平成16年度から実施しています。

①新規事業支援タイプ：これからまちづくり活動を始めようとする団体への助成

助成額：対象事業費の5分の4以内、8万円を上限

助成回数：一事業につき1回

応募種別：①一般事業支援：応募資格※を満たす団体

②シビックプライド事業支援：

応募資格※を満たし、特定非営利活動促進法第2条第1項に掲げる活動分野で、「まちづくりの推進を図る活動」に該当する事業を行う団体

③こどもファースト事業支援：応募資格※を満たし、特定非営利活動促進法第2条第1項に掲げる活動分野で、「子どもの健全育成を図る活動」に該当する事業を行う団体

②拡充事業支援タイプ：地域社会の課題解決を目的とした市民活動団体への助成

助成額：対象事業費の3分の2以内、20万円を上限

助成回数：一事業につき3回

応募種別：①単独事業支援：応募資格※を満たす団体

②協働連携事業支援：応募資格※を満たし、代表で応募する団体以外で1つ以上の企業やNPOと協働で事業を行う共同体

※応募資格

- ①構成員が5人以上であること
- ②構成員の過半数が市内に在住 または 通勤、在学していること
- ③市が定める公開企画コンペティション及び事業報告会に出席できること

みんなで育てる公共空間

一緒に **アダプト・プログラム** を進めませんか？

岐阜版アダプト・プログラム
“ぎふまち育て隊”



一般型

アダプト・プログラム

公共空間の美化活動



(一例) 町内の清掃活動



創造型

アダプト・プログラム

維持管理までを念頭において、
企画段階から市民のみなさんが
参画する活動



(一例) 梅林公園の整備と清掃

文化財型

アダプト・プログラム

民有地にある、まちのシンボリックな
文化財などの保全活動



(一例) 上城古墳の保存と清掃

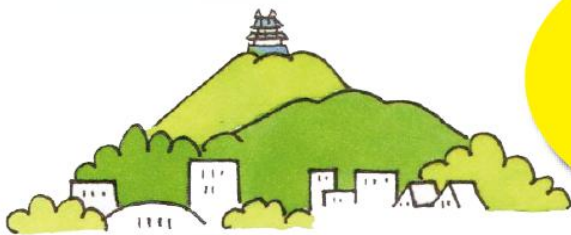
環境保全型

アダプト・プログラム

環境保全に係る活動



(例) 里山整備活動



アダプト・プログラムって何？

1985年、ハイウェイでの散乱ゴミが深刻化するアメリカのテキサス州で生まれました。ハイウェイでのゴミ問題を、地域の人々が自ら清掃を行い、空き缶などのポイ捨てに対する抑止効果を高めていくことで解決していったのです。

「アダプト」には、養子縁組をするという意味があります。市民が里親になり、道路・河川・公園などの公共の場所を、わが子のように愛情を持って面倒をもみるという意味で、このことから一般には、都市美化の新しい仕組みを言います。

